

令和三年度入学者選抜学力検査問題 国語 正答・正答例及び評価基準

※1 字数制限のあるものは、句読点、カギ括弧等も一字に数え、字数制限に従って書いているもののみを評価の対象とする。ただし、「正答または正答例」の欄に(例)と示されている小問で、文中、または最後の「マス」に文字と句読点が一緒に書かれていて総字数が制限を超えている場合は、句読点の誤りとみなし、小問ごと全体で一点減点とする。

※2 漢字の表記については、手書きの楷書と認められる範囲内における形のくずれは問わない。また、異体字も正答とする。

※3 (例)と示されている小問の誤字、脱字、句読点や文法上の誤り等については、小問ごと全体で一点減点とする。それ以外のものについては、問三と問五(1)を除き、誤字、脱字、句読点や文法上の誤り等それぞれ一か所につき一点の減点とする。

問題番号	小問	正答または正答例		小問	配点	計	評価上の留意事項															
		問題																				
		一	二																			
五	(5)	iii C	ii B	i A	(4)	(3)	(2)	(1)	① 切実 ② 群	各2	28	(6)は、付せんを踏まえた内容が書かれており、かつ、「前向きな気持ち」と同等の内容が書かれているものを正答とする。										
													iii C	ii B	i A	(4)	(3)	(2)	(1)	① 切実 ② 群	各2	(6)は、付せんを踏まえた内容が書かれており、かつ、「前向きな気持ち」と同等の内容が書かれているものを正答とする。
四	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	① いちどろ ② わざわい	各1	6	誤と正の両方が正しい場合のみ正答とする。											
三	(7)	(6)	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	① 誤基 ② 誤善 ③ 誤現 ④ 誤著	各2	6	誤と正の両方が正しい場合のみ正答とする。											
二	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	(7)	(6)	ii d c イ	3	2	16	(7)については、 ・条件1と条件3を満たして解答しているものを正答とする。 ・条件1と条件3を満たし、条件2を満たさないで解答しているものは四点とする。 ・AとBの記号を使わずに解答しているものも正答とする。										
一	(5)	(4)	(3)	(2)	(1)	(7)	(6)	ii d c イ	4	3	34	(5)については、 ・七十文字以上八十文字以内で書かれているもので、正答例と同等の内容が書かれているものを正答とする。 ・流れと構えに「」がない場合は、※3とみなし、全体で一点減点とする。										